

〔蘆名家記〕關柴合戰之事

大鹽ニハ右ノ如ク、穴澤一黨、三瓶大藏ヲ指置レケリ、

〔結城戰場物語〕五番に奥州勢、秋田、古堀伊達、信夫、あい河、黒川、鹽竈黨をさきとして、都合其勢一萬餘騎、さきを論じて押寄、

〔勢州四家記〕一當昔伊勢國は、四家に分て守護せり、南五郡は國司領也、北八郡は、工藤の一家關の一黨、其外北方之諸侍守護之故に、國司家と工藤家と戦ひ、工藤家と關家と戦ひ、關家と北方諸侍と戦ひ、朝暮兵亂止事なし、

〔菊池傳記〕井芹一黨被誅、附甲斐宗立兄弟叛逆事

其頃阿蘇家人にて、宗運が與力に井芹黨と號し、七十餘人の兵あり、

〔關岡家始末〕伊賀國ハ服部黨大名ニテ、北郡ニ威ヲ振ヒ、國中徧從ヒ、信樂ノ多羅尾等モ相從ヒケ

ル、略中伊賀國ニ於テ、氏則ニ相從フ輩ハ、荒木一黨、山田家、太田ノ一黨、粟等也、

〔書言字考節用集〕十數量武藏七黨ムサシ、ダウ、丹治、私市、兒玉、猪股、西野、横山、村山

〔武家職號〕武藏七黨

丹治、兒玉、猪股、私市、西野、横山、都築

〔關八州古戰錄〕ハ那須七黨沙汰、附降參峯、黒羽城等軍事

下野國那須家ニ於テ、黨ノ七騎ト稱スル旗下アリ、略中其中ニ大關太田原ハ元同姓ニシテ、武

藏七黨ノ一員、丹治黨ノ餘流ナリ、宣化天皇ノ王子上殖葉王ノ苗裔、正三位中納言丹比縣守ノ

六世家義、醍醐天皇ノ朝、和州澁田庄ヲ賜フ、其嫡孫武廷、始テ關東エ下リ、武藏國加地郷ニ居住

ス、是ヨリ丹黨起レリ、

〔保元物語〕白河殿を攻め落す事